

岡山県の災害リスクといざという時の行動

2 風水害・土砂災害

平成30年7月豪雨
記録的な大雨により、堤防の決壊や越水、内水氾濫による浸水、土砂災害が発生し、倉敷市をはじめ、県内各地で甚大な被害が発生しました。



平成30年7月豪雨災害
倉敷市真備町における浸水被害



提供：RSK山陽放送

令和元年9月 新見市
局地的豪雨による被害



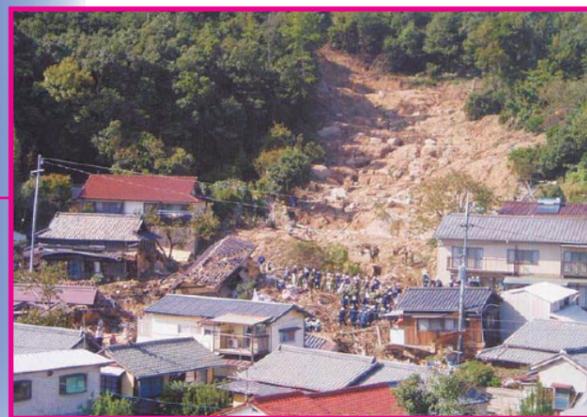
平成21年8月 美作市
台風第9号による土砂災害



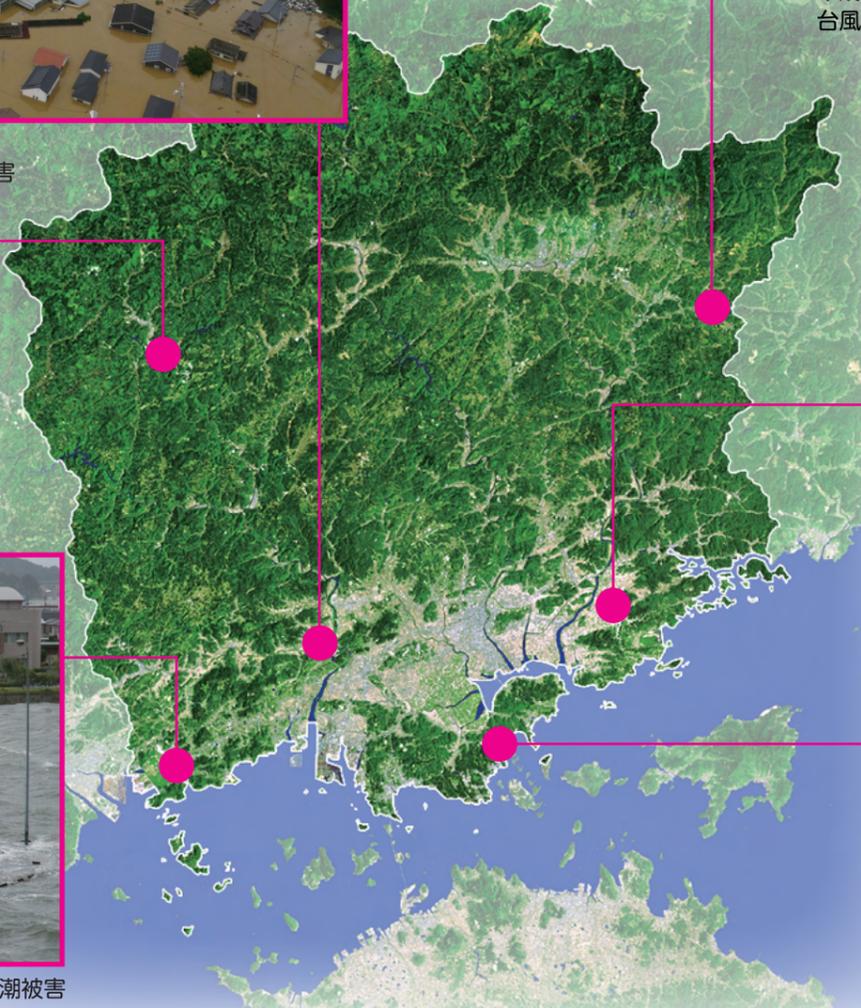
平成29年9月 瀬戸内市(旧長船町) 台風第19号による浸水被害



平成16年8月 笠岡市 台風第16号による高潮被害



平成16年10月 玉野市 台風第23号による土砂災害



岡山県でも
たくさんの
被害が
出ています



山間部や山のふもとに住んでいる方は注意!

岡山県の土砂災害

岡山県には崩れやすい性質をもつマサ土が広く分布し、台風等の豪雨により、たびたび土砂災害が発生しています。平成16年10月の台風第23号では玉野市、平成21年8月の台風第9号では美作市において、大規模な土砂災害が発生しました。土砂災害警戒区域等では、特に土砂災害のリスクが高く警戒が必要です。

海岸沿いや県南の低平地に住んでいる方は注意!

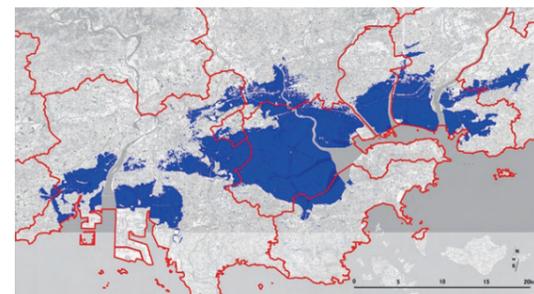
岡山県の高潮被害

台風の接近時には、沿岸部では高潮への警戒が必要です。平成16年8月の台風第16号では大潮期間の満潮と重なり、宇野港で観測開始以来最も高い潮位(255cm)を観測し、沿岸部で甚大な被害が発生しました。

河川沿いや県南の低平地に住んでいる方は注意!

岡山県の浸水被害

岡山平野の多くは、洪水で上流から運ばれた土砂が堆積してできた低平地や干拓地からなり、ゼロメートル地帯が広く分布しており、河川が氾濫すると大きな被害につながります。ゼロメートル地帯以外の低平地でも、浸水被害は発生する可能性があるため注意が必要です。



岡山平野ゼロメートル地帯(青色がゼロメートル地帯)
出典:国土交通省 岡山河川事務所ホームページ

岡山県の災害リスクといざという時の行動

台風情報が発表されてから避難するまでの流れ

1 危険箇所や避難所の確認

テレビ、ラジオ、気象庁のホームページなどで最新の防災気象情報を収集するように心掛け、時間を追って段階的に発表される「注意報」や「警報」、「避難情報」や「警戒レベル」を活用して、早め早めの安全確保行動をとるようにしましょう。
避難情報が出たり、危ないと感じたりした時は、直ちに避難しましょう。
いざという時のために、日頃からハザードマップにより災害リスクを確認し、災害時に「いつ」「何をするのか」を時系列に整理しておきましょう。

2 非常持出品の用意

日頃から各市町村のハザードマップで周辺の危険箇所や避難所を確認しておきましょう。
また、備蓄もしておきましょう。

3 最新情報を随時確認

停電・断水や避難に備えて、早めに非常持出品の用意をしておきましょう。

4 住まいへの備え

台風・風水害に備えて、早めに住まいやその周辺の整備・点検をしましょう。

5 避難情報が出たらすぐに行動

避難情報が出たら、速やかに行動！「まだ大丈夫」と判断せずすぐに避難をしてください。
万一避難する余裕がない場合は、**屋内安全確保**を。

屋内安全確保

災害から身の安全を確保するために最も望ましい方法は、災害リスクのある区域からの立ち退き避難ですが、ハザードマップ等で自ら自宅・施設等の浸水想定等を確認し、上階への移動や高層階に留まることなどにより、身の安全を確保することが可能な場合は、屋内のより安全な場所に避難しましょう。

※P15参照



「自分だけは大丈夫」と安易に判断しない！
早め早めの避難を！



避難情報



チェック



警報
注意報



アンテナ

窓

屋根・瓦
トタン

雨どい

側溝

プロパンガス

主な防災気象情報
 <警報・注意報>
 ●注意報…災害が起こるおそれがあるとき
 ●警報…重大な災害が起こるおそれがあるとき
 ●特別警報…数十年に一度の豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっているとき
 <土砂災害警戒情報>
 大雨警報が発表され、土砂災害の危険度が高まった場合に、気象台が都道府県と共同で発表します。
 <記録的短時間大雨情報>
 現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、数年に一度程度しか観測しない雨量であることを知らせるために発表されるものです。
 <顕著な大雨に関する気象情報>
 非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。